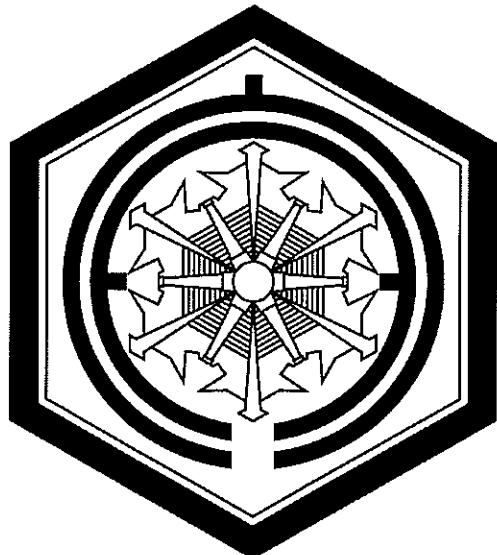


令和 2 年

消防年報



歌志内市消防本部

は　し　が　き

1. この年報は、歌志内市における消防現況並びに令和2年中の消防業務の諸資料及び火災統計の集録、消防事情の紹介など、今後の火災予防をはじめとする消防行政推進の資料とすることを目的として編集したものです。
2. この年報は、令和2年12月末日現在で編さんしたものですが、統計表等については、その推移を明らかにするため、過去数カ年を対比してまとめました。

令和3年3月

歌志内市消防本部

目 次

歌志内市の現況と消防の沿革

1. 地 勢	1 頁
2. 気 象	1 頁
3. 月別気象状況表	2 頁
4. 人口・世帯数	3 頁
5. 市勢に対する消防現勢との比較	3 頁
6. 人口・世帯の推移	3 頁
7. 歌志内市消防の沿革	4 頁
8. 令和2年行事記録表	8 頁

消 防 力 の 現 勢

1. 消防組織	9 頁
(1) 消防機構	9 頁
(2) 消防職員階級別表	10 頁
(3) 消防職員配置表	10 頁
(4) 消防職員年齢別表	11 頁
(5) 消防職員勤続年数表	11 頁
(6) 消防職員教養訓練状況（既往5カ年）	12 頁
(7) 消防職員技能資格調	12 頁
(8) 消防団員定員実員状況	13 頁
(9) 消防団員勤続年数表	13 頁
(10) 消防団員年齢別表	14 頁
(11) 消防団員任免状況	14 頁
2. 消防施設	15 頁
(1) 消防機械	15 頁
① 消防車両現勢一覧表	15 頁
② 消防機器積載状況	16 頁
③ 特殊器具等一覧表（車載分含）	17 頁
(2) 消防無線	18 頁
(3) 水利現勢	19 頁
(4) 消防庁舎	19 頁
(5) 消防職員住宅	19 頁
(6) 通信施設系統図	20 頁
(7) 通信・気象観測施設	21 頁

(8) 緊急通報システム	-----	22頁
① ふれあいネットワーク（消防センター）	-----	22頁
② 発信種別通報	-----	22頁
③ 処理別回数	-----	22頁

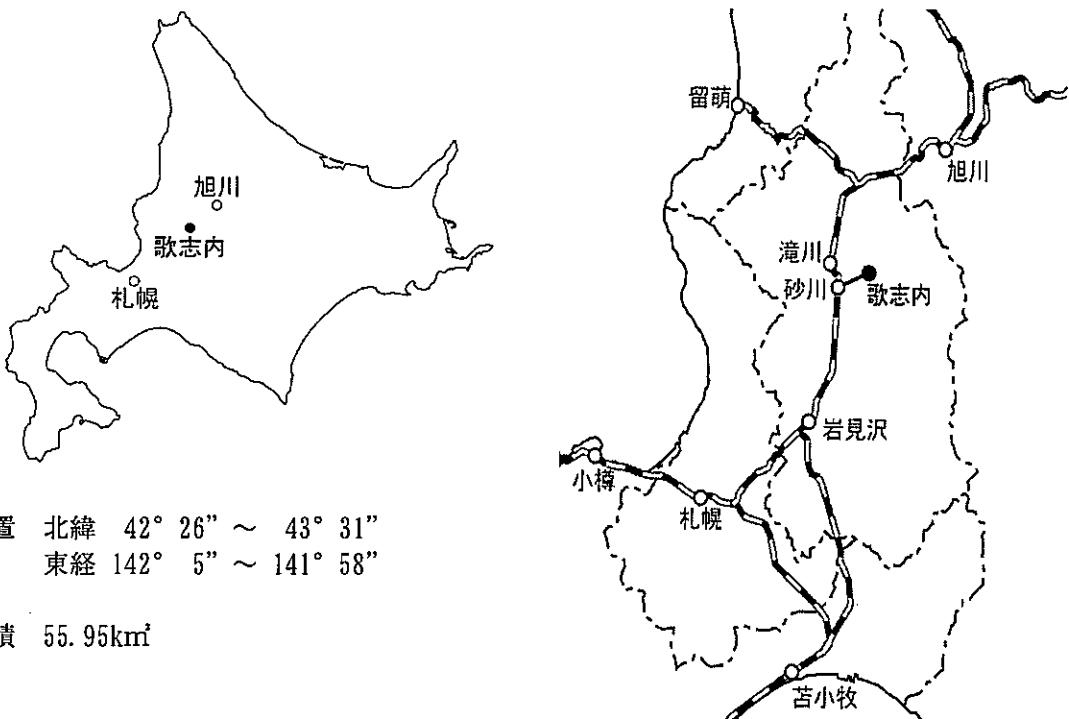
火災と救急・救助

1. 火災概況	-----	23頁
(1) 令和2年火災記録	-----	24頁
(2) 既往10ヵ年月別火災発生状況	-----	25頁
(3) 既往10ヵ年火災状況	-----	26頁
(4) 既往10ヵ年原因別出火件数	-----	26頁
(5) 既往10ヵ年時間帯別火災発生状況	-----	27頁
(6) 既往10ヵ年曜日別火災発生状況	-----	27頁
2. 救急概況	-----	28頁
(1) 月別救急出場状況	-----	29頁
(2) 時間別救急出場状況	-----	30頁
(3) 曜日別救急出場状況	-----	30頁
(4) 年齢・性別搬送状況	-----	31頁
(5) 事故種別・性別搬送状況	-----	31頁
(6) 地区別発生状況	-----	31頁
(7) 傷病程度別搬送状況	-----	31頁
(8) 救急隊員の行った応急処置件数	-----	32頁
(9) 覚知別受信状況	-----	32頁
(10) 医療機関別搬送状況	-----	32頁
(11) 診療科別搬送状況	-----	32頁
(12) 既往5ヵ年事故種別出場状況	-----	33頁
(13) 普通救命講習会実施状況	-----	33頁
(14) 一般救急講習会実施状況	-----	33頁
3. 救助概況（既往5ヵ年）	-----	34頁

予防行政

1. 月別建築同意・通知処理状況	-----	35頁
2. 消防業務処理状況	-----	36頁
3. 防火管理者業務状況	-----	37頁
4. 危険物製造所等現在数調	-----	37頁
5. 危険物規制事務手数料	-----	37頁
6. 防火広報活動	-----	38頁

歌志内市の現況と消防の沿革



1. 地 勢

歌志内市は石狩平野の東北隅の山麓地帯にあって、周囲は芦別市、赤平市、砂川市、上砂川町の4市町に接している。

この流域は夕張山脈の北に当たり、山岳地帯に源を発して西流するペンケウタシュナイ川とこの川に注ぐ小流の占める流域を北部とし、南部は西山を主峰とするペンケウタシュナイ川以南の山岳地帯に分けることができる。

東部および南部は最南端に位置するペンケ山を主峰とし、他の600メートル前後の山々と、これらを結ぶ山脈を境として芦別市に接し、北部は赤平山、神威岳を境とし赤平市に接している。

また西部および西南部は次第に開けて砂川市および上砂川町に隣接している。

2. 気 象

歌志内市の属している本道中央部は、世界の気象帯からいえば温帶の北限あるいは亜寒帯に属し本邦の気象形成区分上は裏日本型である。

冬季は湿潤寒冷であるが、夏季は温暖で春より初夏にかけて乾燥し、晚夏から秋は比較的雨が多い。

年間を通じ当市の気温は空知管内の平均に近いが、寒暖の差がかなり大きい。

風は地形上から年間を通じ穏やかで西寄りの風が多く、やや内陸性をおびている。

また、降水（雪）量も山間のため管内の他市町より量が多い。

なお、令和2年の気象状況は次表のとおりである。

3. 月別気象状況表

種 別		月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
温 気 (°C)	最高	3.4	9.5	15.1	19.8	28.0	29.0	31.0	32.8	32.1	22.9	18.0	5.8	
	最低	-17.2	-24.1	-10.7	-6.4	-0.4	6.8	13.3	11.1	5.0	-0.6	-3.9	-24.0	
	平均	-6.2	-5.6	0.7	4.6	12.2	16.7	20.3	21.5	17.8	9.7	3.6	-4.7	
湿 度 (%)	相 対	最低	45.3	28.9	18.5	13.1	15.1	20.1	39.1	25.5	33.5	28.9	34.6	56.1
	平 均	79.8	75.3	70.3	66.0	68.7	78.0	78.2	79.5	79.7	82.3	84.1	85.7	
	最 級	最低	71.1	70.8	62.9	48.8	56.0	61.3	74.4	74.8	73.0	77.3	78.1	82.4
風 速 (m/sec)	効 級	平均	80.4	75.2	70.9	64.5	69.3	76.2	79.1	79.2	79.9	81.7	83.9	86.0
	最 大 (10分平均)	平均	2.8	2.0	2.4	2.1	1.9	1.7	1.6	2.7	1.8	1.7	1.7	1.4
	最 多	風 向	西北西	東	西北西	南東	西北西	西北西	南東	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西
晴 雨 日 数 (日)	晴	9	11	15	8	18	9	14	16	8	10	1	1	1
	曇	13	13	14	20	11	19	13	13	22	17	20	14	
	雨	0	0	2	2	2	2	4	2	0	0	4	1	0
降 雪 量 (cm)	雪	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8	16	
	降 雪 量 (mm)	195	150	39	0	0	0	0	0	0	0	100	402	
	降 雨 量 (mm)	0	1.5	61.5	31.5	92	123	76	149.5	76	111	135.5	0	

4. 人口・世帯数

人 口	男	1,432 人	3,019 人
	女	1,587 人	
世 帯 数			1,788 世帯

5. 市勢に対する消防現勢との比較

区分 種 別	消防職員 1 人当	消防団員 1 人当	消防車 1 台当
人 口	131.3 人	67.1 人	754.8 人
世 帯	77.7 世帯	39.7 世帯	447.0 世帯
面 積	2.4 km ²	1.2 km ²	14.0 km ²

6. 人口・世帯の推移

区分 年 别	人 口	世 帯	消防職員数	備 考
平成 9 年	6,519	3,037	29	
平成 10 年	6,356	3,018	28	
平成 11 年	6,236	2,995	28	
平成 12 年	6,118	2,973	27	
平成 13 年	5,977	2,942	28	
平成 14 年	5,846	2,880	28	
平成 15 年	5,726	2,853	28	
平成 16 年	5,560	2,797	28	
平成 17 年	5,361	2,745	27	
平成 18 年	5,200	2,693	26	
平成 19 年	4,989	2,594	24	
平成 20 年	4,792	2,510	25	
平成 21 年	4,644	2,456	24	
平成 22 年	4,467	2,377	23	
平成 23 年	4,308	2,303	23	
平成 24 年	4,178	2,262	23	
平成 25 年	4,033	2,216	23	
平成 26 年	3,833	2,143	23	
平成 27 年	3,664	2,074	23	
平成 28 年	3,524	2,015	23	
平成 29 年	3,408	1,980	22	
平成 30 年	3,275	1,908	22	
令和 元 年 (平成 31 年)	3,130	1,834	23	
令和 2 年	3,019	1,788	23	

7. 歌志内市消防の沿革

一 消防組時代 一

- 大正12年 明治33年7月歌志内市街の全焼。明治44年5月の大山火事等過去の災害が消防組設置の機運を盛り上げ、4月1日歌志内消防組が設置された。
なお、すでに中村、文珠方面に中村青年団、神威方面に自彊青年団が組織され火災時にはこれらが消火に当たった。
- 大正14年 8月、私立中村実業消防組設立。
- 大正15年 8月、私立神威消防組設立。
- 昭和3年 5月、フォード1929型ガソリンポンプ購入。
- 昭和4年 4月、私立中村実業消防組、私立神威消防組が合併し公立神威消防組が発足した。
- 昭和11年 歌志内消防設備委員代表の寄付採納願により機械置場火の見櫓を設置した。
- 昭和13年 4月、従来の消防機械に更に機動力を持たせ防火の万全を期すため、フォード37年型自動車ポンプを購入。
- 歌志内消防組、機械器具置場に2馬力サイレン設置。

一 警防団時代 一

- 昭和14年 勅令を以って警防団が公布され、4月1日歌志内警防団（2部、3分団、345名）が発足した。
- 昭和15年 自動車の運転と機械操作のため常備消防員2名が任命された。
- 昭和16年 警防団第2部（神威）消防庁舎を新築、サイレンを設置した。
- 昭和17年 警防団第1部（歌志内）消防器具設置場として消防庁舎の上棟式を行った。
- 昭和19年 警防団（歌志内）サイレン塔屋を新設、警報用サイレン10馬力を設置した。

一 自治体消防時代 一

- 昭和22年 勅令を以って消防団令が公布され、警防団を廃止して7月1日歌志内消防団、神威消防団を結成した。
- 昭和26年 消防体制強化のため4月1日消防本部を設置し、初代消防長に加藤正雄が就任した。
- 昭和30年 歌志内消防団条例が施行され、歌志内、神威消防団を統合、12月1日歌志内消防団を結成した。
- 昭和32年 消防長加藤正雄が退任し、二代消防長に町助役菅原真が就任した。
- 昭和34年 市勢に対応するため消防署を設置、神威方面を所轄区域にする神威分遣所を設置した。
- 昭和36年 神威分遣所庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和38年 石炭産業界合理化のため解団した北炭消防団の所轄区域維持のため東光一区に分所を設置した。
- 昭和41年 消防力強化のため日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈された。
- 消防本部庁舎、鉄筋コンクリート造り2階建を新築した。
- 昭和42年 消防本部並びに消防署設置条例を改正し、神威分遣所を出張所に東光分所を分遣所とし、従来の3係を総務、予防、警防、機械の4係とした。
- 昭和43年 市立病院配置救急車が消防本部配置となり5月15日より救急業務を開始した。
- 昭和44年 消防団の団結、規律技能優秀により日本消防協会長から表彰旗が授与された。

昭和45年	消防長菅原真が退任し、三代消防長に消防署長鈴木信雄が就任した。
昭和46年	住友歌志内礪閑山に伴い住友消防団第1、3分団が解団し、第2分団は上歌分団として歌志内消防団に編入された。
昭和50年	12月1日、台風6号及び集中豪雨の水防功労により消防団に北海道知事から表彰状が授与された。
昭和51年	11月1日、所轄区域の人口激減のため東光分遣所廃止、12月5日団員の転勤等により分団運営困難なため上歌分団が解団した。
昭和52年	消防長鈴木信雄が退任し、四代消防長に市助役森永大が就任した。
昭和54年	消防吏員待機宿舎（一棟4戸）を新築した。
昭和55年	消防長森永大が退任し、五代消防長に市助役池田鉄雄が就任した。
昭和56年	12月29日、消防本部の組織等に関する規則を一部改正し総務、予防、警防、機械係を総務、予防、保安、警防の4係とした。
昭和60年	消防長池田鉄雄が退任し、六代消防長に市助役河原敬が就任した。
昭和62年	消防長河原敬が退任し、七代消防長に消防署長黒田豊が就任した。
昭和63年	歌志内市名誉消防団員規程を制定した。 歌志内市婦人防火クラブ設立。 消防力強化のため日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈された。
平成元年	4月1日、消防本部並びに消防署の組織に関する規則を一部改正し総務、予防、保安、警防係を総務、予防、保安、警防、救急、消防団係の6係とした。 一般社団法人日本自動車工業会より、救急自動車1台寄贈された。
平成3年	コミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成事業）により、歌志内市婦人防火クラブ員の制服等を整備した。
平成4年	歌志内市婦人防火クラブ活動資器材として、日本消防協会より軽可搬消防ポンプ1台寄贈された。 独居老人等災害弱者の突発的な事態発生時に、迅速な救急・救助体制を図るため災害弱者緊急通報システム「ふれあいネットワーク」の運用を開始した。
平成5年	歌志内市消防創立70周年記念式典挙行。
平成6年	6月1日、老人など災害弱者に対する防火指導や火災予防のPR活動を強化するため、女性消防団員5名を採用した。
平成9年	ふるさと消防団活性化事業により歌志内市消防団の訓練用資機材を整備した。
平成10年	消防長黒田豊が退任し、八代消防長に消防署長菊池剛が就任した。 消防団の地域防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により北海道知事から表彰旗が授与された。
平成12年	2月22日、応急処置の充実、救命率のアップを図ることを目的とし高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を整備した。 5月1日、救急救命士による救急業務の運用を開始。
平成13年	防火思想の普及、災害防ぎよ活動の功績により消防庁長官から歌志内市消防本部及び歌志内市消防団に竿頭綬が授与された。
平成15年	消防長菊池剛が退任し、九代消防長に消防署長澤田季孝が就任した。
平成16年	7月24日、歌志内市消防団北海道消防操法訓練大会（小型ポンプの部）優勝。 歌志内市消防署神威出張所を歌志内市消防署神威分遣所に機構改革した。 火災統計資料の明確な昭和22年以降初めて、年間無火災記録を達成。
平成17年	携帯電話からの119番通報直接受信運用開始。

平成18年	<p>5月14日、歌志内市防火管理者連絡協議会、歌志内市危険物安全協会が統合し、歌志内市防火安全協会が設立された。</p> <p>歌志内市消防署組織の機構改革に基づき、歌志内市消防署神威分遣所を廃止し、歌志内市消防団神威分団詰所を設置。</p> <p>歌志内市消防団神威分団詰所の無人化に伴い、歌志内市消防本部にサイレン吹鳴遠隔装置を設置。</p>
平成19年	<p>4月1日、歌志内市行政機構全体の見直しに伴い、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し係制からグループ制とした。</p> <p>5月1日、歌志内分団、神威分団を第1分団、第2分団と改めた。これに伴い、歌志内市消防団神威分団詰所を歌志内市消防団第2分団詰所とした。</p> <p>気象観測装置の老朽化等により一部観測ができなくなったため、7月20日、「空知産炭地域整備事業助成金」を活用し、新たに気象観測装置を整備し、8月1日より運用開始した。</p> <p>10月1日、消防本部並びに消防署の組織等に関する規則を一部改正し、総務・消防団グループ、予防・保安グループ、警防・救急グループの3グループとした。</p> <p>「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進助成事業」及び「女性消防隊による安全で災害に強い地域づくり推進事業」により、歌志内市婦人防火クラブ員のスラックス、軽可搬ポンプ、防火広報用資器材等を整備した。</p> <p>「住宅用火災警報器設置促進活動等支援助成金」により、パネル、住宅用火災警報器を整備した。</p>
平成20年	住宅用火災警報器の普及促進に係る事業実施にあたっての「地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金制度」により、市内独居老人宅に住宅用火災警報器の設置促進を図った。
平成21年	消防長澤田季孝が退任し、十代消防長に主幹（総務・消防団グループ担当）西丸強が就任した。
平成23年	<p>3月7日、一般社団法人日本自動車工業会より寄贈された救急自動車を高規格救急自動車に更新し、高規格救急自動車を2台体制とした。</p> <p>3月25日、東日本大震災緊急消防援助隊北海道隊第5次派遣隊として、宮城県石巻市に職員3名を派遣した。</p>
	10月13日、歌志内市字本町1027番地55の旧ショッピングセンター、鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階付平屋建を改修し、新消防本部庁舎として運用を開始した。
	10月26日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により全国消防長会会長から消防本部に表彰状が授与された。
	11月9日、東日本大震災による緊急消防援助隊派遣により総務大臣から消防本部に表彰状が授与された。
	火災統計資料の明確な昭和22年以降2度目の年間無火災記録を達成。
平成24年	3月26日、老朽化した広報車を指揮広報車として更新した。
平成25年	<p>2月15日、老朽化した消防3号車を更新した。</p> <p>4月1日、消防救急デジタル無線共通波を整備し、運用を開始した。</p>
	11月29日、老朽化した消防5号車を更新した。
平成26年	12月11日、老朽化した搬送車を広報搬送車として更新した。
平成27年	11月2日、歌志内市字神威48番地1に鉄筋造平屋建を新築し、新歌志内市消防団第2分団詰所として運用を開始した。
	12月1日、消防団の教育訓練のため総務省消防庁から救助資機材搭載型消防ポンプ自動車が1台、無償貸付された。
平成28年	<p>6月1日、消防救急デジタル無線活動波を整備し、運用を開始した。</p> <p>火災統計資料の明確な昭和22年以降3度目の年間無火災記録を達成。</p>

平成29年	10月11日、各部隊の指揮統制並びに、火災予防や各種災害時の広報を目的とし、消防指揮広報車を整備した。
平成30年	火災統計資料の明確な昭和22年以降4度目の年間無火災記録を達成。 8月3日、バッテリー型油圧救助資機材を整備した。 歌志内市婦人防火クラブ設立30周年記念式典挙行。
令和元年 (平成31年)	4月22日、夕張市石炭博物館模擬坑道火災により北海道広域消防相互応援協定に基づく応援隊第4次派遣隊として、夕張市に職員4名を派遣した。 4月26日、夕張市石炭博物館模擬坑道火災により北海道広域消防相互応援協定に基づく応援隊第8次派遣隊として、夕張市に職員4名を派遣した。 4月30日、夕張市石炭博物館模擬坑道火災により北海道広域消防相互応援協定に基づく応援隊第12次派遣隊として、夕張市に職員4名を派遣した。 コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）により、歌志内市婦人防火クラブ員の訓練用水消火器を整備した。
令和2年	厳正な規律を保持し熟達した技能を有し、かつ平素から消防の使命を達成することを認められ、日本消防協会長から消防団に表彰旗が授与された。 新型コロナウイルス感染症拡大防止資機材として、車輌除染システム及び陰圧式患者搬送用器具を整備した。

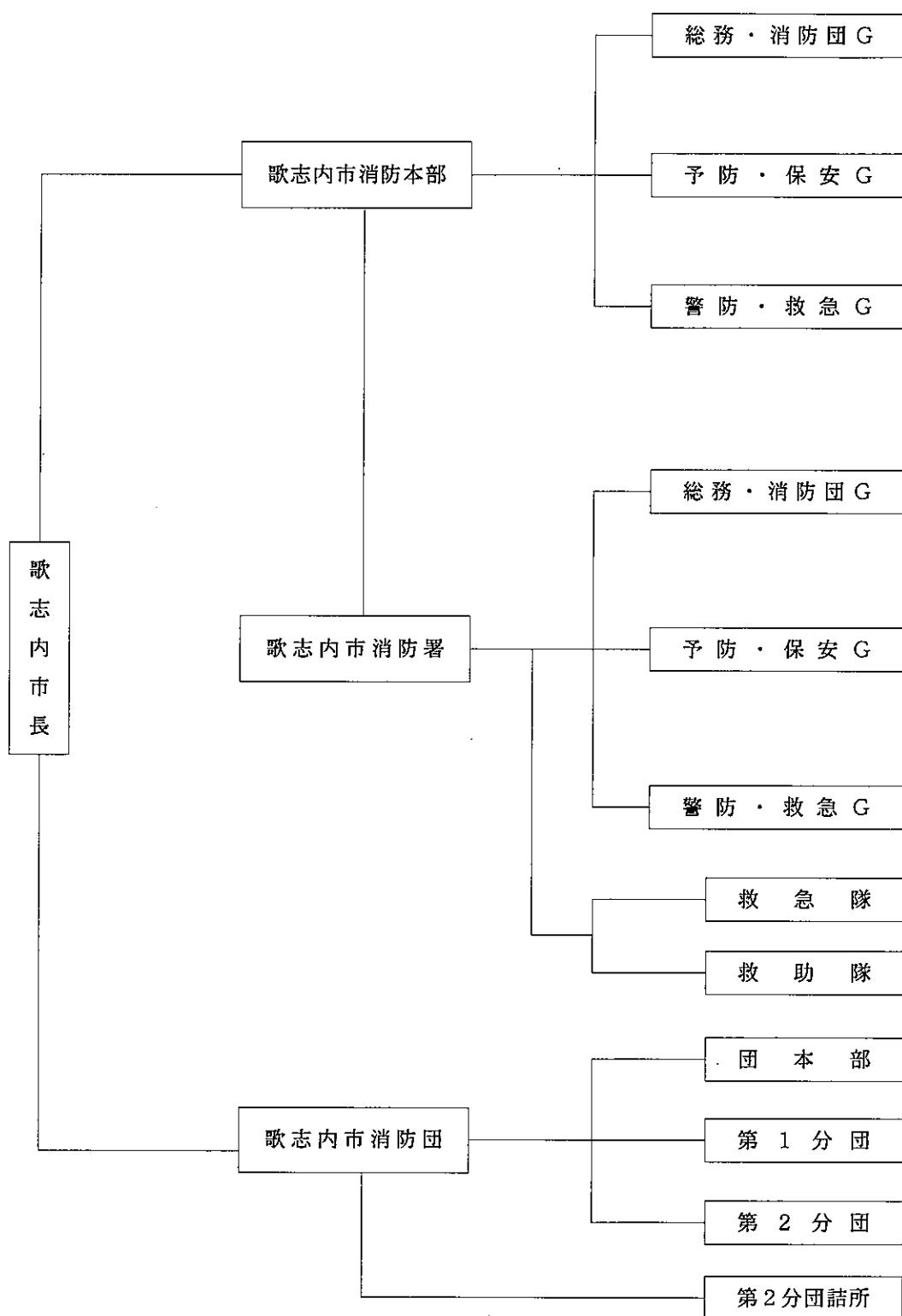
8. 令和2年行事記録表

月 日	行 事 内 容	開 催 地
1. 12	出初式	
16	北海道消防協会空知地方支部中空知分会第3回常任理事会出席	滝川市
22 ~ 23	防火対象物立入検査	
24	北海道消防協会空知地方支部第2回総会出席	美唄市
31	新型コロナウイルスに関連した感染対策に関する会議出席	岩見沢市
2. 6	新型コロナウイルス感染症に係る情報交換会出席	滝川市
13	全国消防長会北海道支部道央地区協議会全道消防救助事例研究会出席	札幌市
17	中空知救急連絡協議会実務担当者打合せ会議出席	滝川市
19	一般救急講習会	
19 ~ 24	防火対象物立入検査	
20	一般救急講習会	
3. 6	「消防記念日」における消防署出動検索救助訓練	
4. 20 ~ 30	春の火災予防運動	
6. 1	一般救急講習会	
10 ~ 16	防火対象物及び危険物製造所等立入検査	
7. 16 ~ 22	防火対象物及び危険物製造所等立入検査	
8. 19 ~ 27	防火対象物立入検査	
20	安全運転管理者講習出席	赤平市
21 ~ 27	危険物製造所等立入検査	
9. 1	消防署・消防団合同非常招集訓練	
8 ~ 16	防火対象物立入検査	
16	北海道消防協会空知地方支部中空知分会臨時常任理事会（Web会議）出席	
10. 15	砂川市立病院がん相談支援センターACP会議出席	砂川市
15 ~ 31	秋の火災予防運動	
20 ~ 28	防火対象物立入検査	
21	災害対策用機械の操作訓練見学会出席	砂川市
22	平成27年度周波数有効利用促進事業(無線システム普及支援事業費等補助事業)会計検査院実地検査	
30	廃車を使用したバッテリー型油圧救助資機材取扱訓練	
11. 6 ~ 16	防火対象物及び危険物製造所等立入検査	
12	防火座談会	
14	防火座談会	
12. 25	危険物製造所等立入検査	
25 ~ 31	歳末特別警戒	
29	消防団歳末警戒	

消防力の現勢

1. 消防組織

(1) 消防機構



(2) 消防職員階級別表

階級区分	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
定 員	階 級 別 定 員 な し						2 7
実 員	1	4	4	7	2	5	2 3

(3) 消防職員配置表

() 兼務者

所 属	階 級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
歌志内市消防本部	消 防 長	1						1
	次 長		1					1
	主 幹		2					2
	総務・消防団 G			2	2	1		5
	予防・保安 G			1	2			3
	警防・救急 G			1	3	1		5
	計	1	3	4	7	2		1 7
歌志内市消防署	署 長		1					1
	主 幹		(4)					(4) 0
	総務・消防団 G			(2)	(2)	(1)	1	(5) 1
	予防・保安 G			(1)	(2)		2	(3) 2
	警防・救急 G			(1)	(3)	(1)	2	(5) 2
	計	0	(4) 1	(4) 0	(7) 0	(2) 0	5	(17) 6
合 計		1	(4) 4	(4) 4	(7) 7	(2) 2	5	(17) 2 3

(4) 消防職員年齢別表

階級 年齢	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳未満							0
20~25						5	5
26~30					2		2
31~35				2			2
36~40				3			3
41~45			1	1			2
46~50			3				3
51~55		1					1
56歳以上	1	3		1			5
合 計	1	4	4	7	2	5	23
平均年齢	59.0	56.8	45.0	40.6	28.5	21.4	39.7

(5) 消防職員勤続年数表

階級 年数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5年未満				1		5	6
5~10					2		2
11~15				1			1
16~20			1	5			6
21~25			1				1
26~30			2				2
31年以上	1	4					5
合 計	1	4	4	7	2	5	23
平均勤続年数	41.0	38.3	24.8	14.4	7.5	1.0	18.0

(6) 消防職員教養訓練状況（既往5ヵ年）

科 目	年 别 教 育					合 計
	28年	29年	30年	元年 (31年)	2年	
北海道消防学校	初任教育		2	1	2	5
	警防科	1	1			2
	救急科			2		2
	救助科	1				1
	処置拡大2行為講習	2	1			3
	危険物科	1				1
	火災調査科		1	1		2
	予防検察科		1	1	1	3
	幹部科		1		1	2
	ポンプ操作法指導員課程	2				2
札幌市消防学校	指揮隊長課程	1	1			2
気管挿管再認定講習		1	2	2	1	6
合 計	9	7	5	7	3	31

(7) 消防職員技能資格調

資格の別	階 級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
自動車運転免許	大型 第2種				1			1
	大 型				1			1
	中 型		3	4	5			12
	中型(8.0t未満)	1	1					2
	準中型(7.5t未満)						4	4
	準中型(5.0t未満)					2	1	3
	大 型 特 殊				1			1
	小型車両系建設機械特別教育		1					1
	安全運転管理者		1					1
	ボイラー技士 2級				1			1
第2級陸上特殊無線技士	1			1	1		1	4
第3級陸上特殊無線技士				1	3		1	5
危険物取扱者 乙種		2	2	3	1			8
消防設備士 乙種		2				1		3
救急 救命士				1	3	1	1	6
救急隊員資格取得者	1	4	3	4	1	2		15
酸素欠乏危険作業主任者				3	3	1		7
硫化水素危険作業主任者					3	1		4
伐木作業者					1			1
足場の組立て等作業主任者					2			2
防災士					2			2
潜水士						1		1
検定簿記1級					1		1	2
検定簿記2級				1	1	1		3
検定簿記3級				1	1			2

(8) 消防団員定員実員状況

階級 分団名		團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
団本部	定員	1	2	1	1	1	2	7	15
	実員	1	2		1	1	2	4	11
第1分団	定員			1	1	3	6	12	23
	実員			1	1	3	6	8	19
第2分団	定員			1	1	3	6	11	22
	実員			1	1	3	5	5	15
合計	定員	1	2	3	3	7	14	30	60
	実員	1	2	2	3	7	13	17	45

(9) 消防団員勤続年数表

階級 年数		團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計
1年未満									0
1~5								9	9
6~10							8	6	14
11~15							2	2	4
16~20						2	1		3
21~25						2	1		3
26~30				1		1	1		3
31~35				1					1
36~40	1	2		3	2				8
41年以上									0
合計	1	2	2	3	7	13	17		45
平均勤続年数	39.0	36.5	31.5	38.3	26.6	12.8	5.5		16.6

(10) 消防団員年齢別表

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満								0
20~25								0
26~30							1	1
31~35							4	4
36~40						2	3	5
41~45					2	2	1	5
46~50						6	3	9
51~55					1		1	2
56~60			1	1		2	3	7
61歳以上	1	2	1	2	4	1	1	12
合計	1	2	2	3	7	13	17	45
平均年齢	72.0	70.5	64.5	63.0	60.1	48.9	46.2	51.9

(11) 消防団員任免状況

区分	分団名	団本部	第1分団	第2分団	合計
実員		11	19	15	45
任免	採用				0
	退職	2		1	3
	昇任				0
	異動				0

2. 消防施設

(1) 消防機械

① 消防車両現勢一覧表

区分 所属	車両種別	車両名称	メカ力	型式	年式	エンジン	ポンプ	放水	水槽量(ℓ/分)	幅員(m)	全高(m)	定員(名)	経過年数	
消防	タンク車	3号車	日野	SDG-GX7JGMA改	2013.5	6,400	日本機械	R3	A2	2,232	1,500	札幌801	ま	3
	タンク車	5号車	日野	SDG-GX7JGAA	2013.5	6,400	吉谷機械	F5	A2	2,244	2,500	札幌801	な	5
	高規格救急車	急救1号車	日産	CBF-FPWE50改	2011.6	3,490						札幌800	そ	1174
	高規格救急車	急救2号車	三菱	KK-FG50EB改	2000.6	5,240						札幌800	さ	5879
	指令車	指令車	トヨタ	GF-RZJ 95W	2002.4	2,690						札幌830	め	119
	指揮広報車	指揮広報車	トヨタ	CBA-GSJ15W	2017.6	3,950						札幌830	め	911
消防	指揮広報車	1号車	トヨタ	CBF-TRH226K	2012.4	2,690						札幌800	そ	2375
	ポンプ車	2号車	三菱	KC-FG538D	1996.4	4,560	日本機械	R3	A2	2,200		札幌88	と	4004
	ポンプ車(無償貸付車両)	6号車	いすゞ	TKG-NMS85AN	2015.4	2,990	モリタ	ME-5	A2	2,000		札幌831	た	6
	広報搬送車	7号車	トヨタ	CBF-TRH228B	2014.4	2,690						札幌800	そ	7000

② 消防機器積載状況

区分 所属	車両種別	車両名称	陸上移動局呼出名稱	無線機		消防機器		作業器具		救助器具		急救器具		消防機器				
				拡声器	無線機	送風機	排風機	粉未消火器	携帯発電機	エンジンカッタ	チエントソ	二連梯子	三連梯子	サイレンアンプ	バスケットストレッチャ	ソーナーテ	防護服	心マッサージ器
消防署	タンク車	3号車	うたしょう3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
消防署	タンク車	5号車	うたしょう5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
高規格救急車	高規格救急車	救急1号車	うたしょうきゅう1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
高規格救急車	高規格救急車	救急2号車	うたしょうきゅう2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指揮車	指揮車	指令車	うたしょしづれい	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指揮広報車	指揮広報車	指揮広報車	うたしょしき	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
消防団	指揮広報車	1号車	うたしょう1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
消防団	ポンプ車	2号車	うたしょう2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
消防団	ポンプ車(無償貸付車両)	6号車	うたしょう6	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
消防団	広報搬送車	7号車	うたしょう7	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

③ 特殊器具等一覧表（車載分合）

保 安 機 器

品 名	数 量	備 考
デジタルレーザー距離計	1	
可燃性ガス検知器	1	
炭化深度計	3	
騒音計	1	
超音波厚さ計	1	

救 急 資 器 材

品 名	数 量	備 考
患者監視装置	1	DYNASCOPE
自動体外式除細動器	2	MRx
自動心マッサージ器	2	ルーカスII、サンバー
血圧計	4	携帯2、デジタル2
輸液セツト	2	留置針・駆血帶・輸液
血糖値測定器	2	ニプロスマートストリップXP3
気道確保用資器材	3	LM、LT、気管挿管チューブ
吸引器	2	tote CUBE-vac、BOSCAROL
喉頭鏡セツト	5	喉頭鏡4、ビデオ喉頭鏡1
携帯血中酸素飽和度測定器	2	マシモRad57、NISSEI plusfit BO-650
オゾン殺菌装置	2	オゾン水生成器・オゾンガス発生器
車輌除染システム	2	BT-03
全身固定用資器材	4	バックポート2、レスキューポート2
陰圧式患者搬送用器具	1	NGF-03-II型

救 助 器 具

品 名	数 量	備 考
エアーカッター	1	
エアーソー	1	
可搬式ワインチ	1	
救助マッット	1	
バスケットストレッチャー	1	
マット式空気ジャッキ	1	
ロープレスキューリソルブ	1	
フローティングロープ	1	
油圧式スプレッダー	1	チーンセット
油圧式カッター	1	
ラムシリンドラー	1	固定器具付
充電池電動式油圧コンピュール	1	コードレス

そ の 他

品 名	数 量	備 考
マルチ型ガス検知器	2	XP-302M-A-3
防護服	11	
切創防止用保護衣	6	チャップスIIファンクショナル
バルーン型投光器	1	
救命胴衣	10	
泡消火原液	300ℓ	合成界面活性剤(120ℓ)・水成膜泡消火薬剤(180ℓ)
クラスA泡消火薬剤	40ℓ	
油処理剤	94ℓ	スノーラップ
油吸着マット	133枚	
油・液体吸着剤	63kg	ACライト(45kg)、オイルゲーター(18kg)
組立水槽	2	
エンジンソー	10	エンジン仕様9、AC100V仕様1
土のう	5,520枚	本部3,320枚、分団詰所2,200枚
大型土のう	30枚	トンバック
発電機	8	
拡声器	11	

(2) 消防無線

呼出名称	種別	常置場所	周波数			送信出力	開局年月日	備考
			1統 3波	1主 運用 7波	活動 波			
うたしょう	基地局	歌志内市役所	○	-	-	20W	H25. 3. 22	
"	"	"	-	-	○	"	H28. 1. 6	
うたしょう 11	陸上移動局	歌志内市消防本部	○	○	○	10W	H25. 2. 26	
" 12	"	"	○	○	○	"	H28. 1. 6	
" 1	"	"	○	○	○	"	H25. 2. 26	
" 2	"	"	○	○	○	"	"	
" 3	"	"	○	○	○	"	"	
" 5	"	"	○	○	○	"	"	
" 6	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	○	"	"	
" 7	"	"	○	○	○	"	"	
" きゅうきゅう 1	"	歌志内市消防本部	○	○	○	"	"	
" きゅうきゅう 2	"	"	○	○	○	"	"	
" しれい	"	"	○	○	○	"	"	
" しき	"	"	○	○	○	"	H29. 9. 19	
うたしょう 13	"	"	○	○	○	5W	H25. 2. 26	
" 14	"	"	○	○	○	"	"	
" 15	"	"	○	○	○	"	"	
" 16	"	"	○	○	○	"	"	
" 17	"	"	○	○	○	"	"	
" 18	"	"	○	○	○	"	"	
" 19	"	"	○	○	○	"	"	
" 20	"	"	○	○	○	"	"	
" 21	"	"	○	○	○	"	"	
" 22	"	"	○	○	○	"	"	
" 23	"	"	○	○	○	"	"	
" 24	"	"	○	○	○	"	H28. 1. 6	
" 25	"	"	○	○	○	"	"	
" 26	"	"	○	○	○	"	"	
" 27	"	歌志内市消防団 第2分団詰所	○	○	○	"	"	
" 28	"	"	○	○	○	"	"	

(3) 水利現勢

種 別		防 火 水 槽			地上式消火栓
地区別		40 m ³ ~ 100 m ³ 未満	20 m ³ ~ 40 m ³ 未満	計	公 設
消防署	歌志内地区	20	8	28	0
	神威地区	32	3	35	1
合 計		52	11	63	1

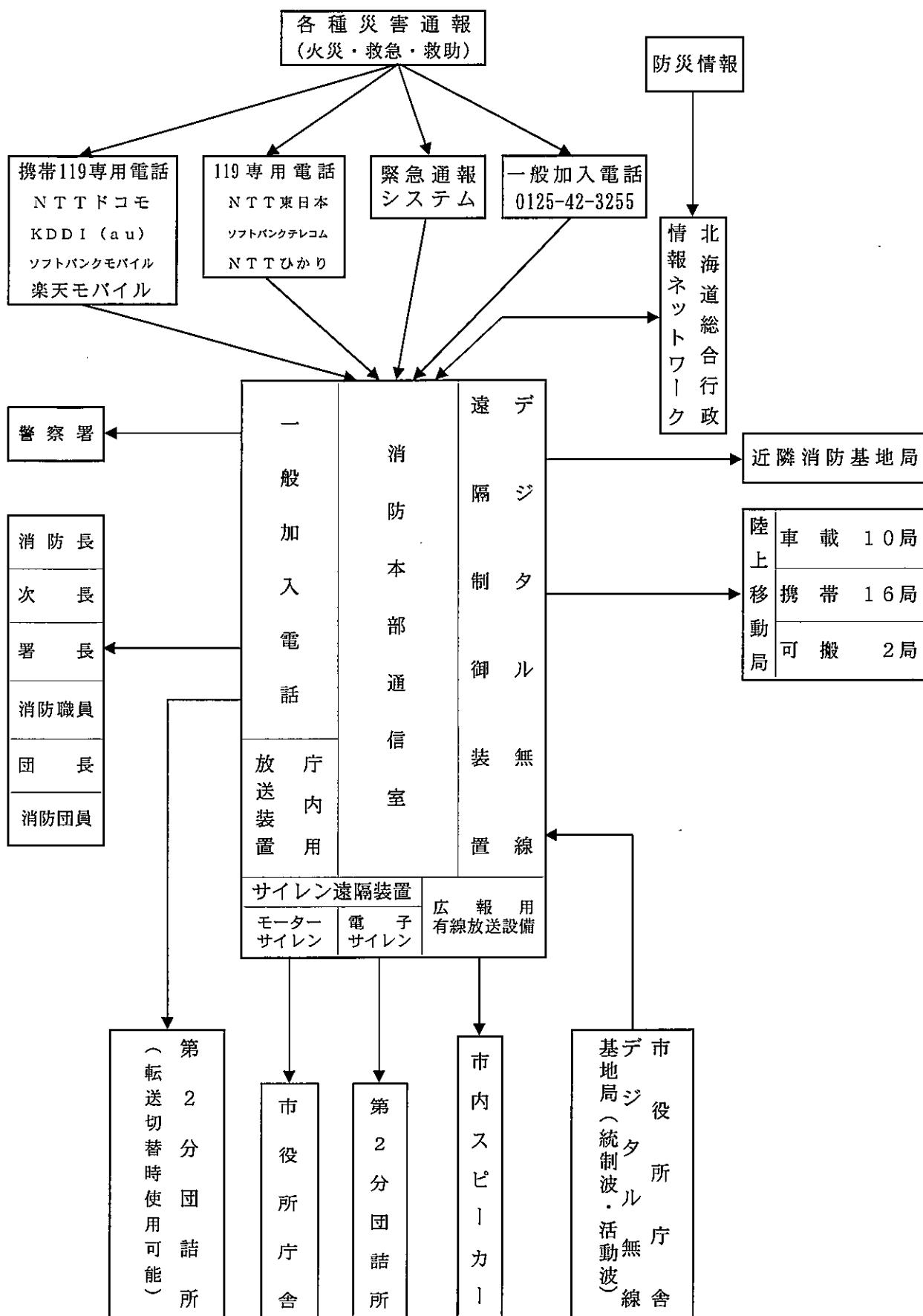
(4) 消防庁舎

名 称	所 在 地	構 造	建築面積	延べ面積	主 要 施 設	竣 工 年 月 日
本 部 消 防 署	本町 1027番地55	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地下1階付平屋建	1,134.00m ²	1,368.63m ²	気象観測施設 サイレン吹鳴遠隔装置 出動表示灯 自家発電設備 自動火災報知設備 排気ガス排出装置 ホース洗浄機 ホース乾燥機 有線放送設備	平成23年10月13日
第2分団 詰 所	神威48番地1	鉄筋造 平屋建	214.17m ²	212.77m ²	自家発電設備 断熱オーバースライダー 地中蓄熱式床暖房設備 ハーリアフリーコンクリート構造 有線放送設備	平成27年11月2日

(5) 消防職員住宅

名 称	所 在 地	棟 数	戸 数	建築面積	延べ面積	構 造
消防吏員待機宿舎	本町50番地	1	4	133.2m ²	253.5m ²	コンクリートブロック2階建 (昭和54年11月12日竣工)

(6) 通信施設系統図



(7) 通信・気象観測施設

種別	名 称	数	要 摘
電 話	1 1 9 番 専 用 電 話	8	本部通信室に設置 (NTT 2、NTTひかり 2、ソフトバンクモバイル 2、携帯電話直接受信 2)
	一 般 加 入 電 話	4	本部 3 分団詰所 1 (転送切替時使用可能)
	緊 急 通 報 シ ス テ ム 「ふれあいネットワーク」	1	NTT SR10-VI 一式 本部通信室に設置 (2回線・端末53台)
	フ ア ク シ ミ リ	2	本 部 FAX番号 0125-42-5210 分団詰所FAX番号 0125-42-3119
	メ ー ル ア ド レ ス	2	LGWAN shobo.soumu@city.utashinai.lg.jp E-mail shobo.soumu@city.utashinai.hokkaido.jp
	北海道総合行政情報ネットワーク	1	本部通信室に設置
消 防 無 線	デ ジ タ ル 無 線	3 0	基 地 局 (統制波3波・活動波1波) 20W 2局
			車載型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 10局 陸 上 移 動 局 携帯型 (統制波3波・主運用波7波) 5W 16局 可搬型 (統制波3波・主運用波7波) 10W 2局
放 送	簡 易 無 線 電 話 〔スタンダード社製 FTH-308 スピーカーマイク MH-73A4B〕	2 3	送受信周波数 12.5KHZ スナップ 消防団班長以上貸与 (団本部除く)
信 号 装 置	庁 内 用 放 送 装 置	1	本 部 240W
	広 報 用 有 線 放 送 設 备	2	本 部 120W 3 分団詰所 120W 4
	サイレン遠隔装置	2	本部通信室に設置
気 象 装 置	モ ー タ ー サ イ レ ン	1	出 力 (10馬力・自動吹鳴機付) 市役所屋上に設置
	電 子 サ イ レ ン	1	広報用有線放送設備により拡声 (市内一円) 分団詰所前に設置 (増設アンプ)
気象装置	気象観測データ監視システム (ウェザーステーションOTW-2006)	1	本部通信室に設置 (温度計、湿度計、気圧計、風向風速計、雨量計) デスクトップPC一括表示

(8) 緊急通報システム

① ふれあいネットワーク（消防センター）

名 称	数	摘 要	※平成4年10月1日運用開始
加入回線 INSネット64 (NTT回線)	1回線	緊急通報受信及び様態確認、協力員等発信回線 デジタル通話路2CH ダイヤルアップルーター(Ipmate 1600RD)	
	1回線	相談通報転送用回線	
受 信 装 置	1 台	NTT SR10-VI3.0 通報蓄積 最新の99件 自動発着信接続方式 通信制御機能	
表示処理装置	一 式	コンピューター本体 (Core2Duo. 3GHz. メモリ: 1GB) HDD 80GB. OS Windows XP Professional 最大処理端末機器 (20,000端子)	
	1 台	モニター (17インチカラーディスプレイ 液晶)	
	1 台	プリンター (EPSON LP-S100)	
	1 台	イメージスキャナー (Canon LIDE30)	

② 発信種別通報

種 別 \ 月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
緊 急 ボ タ ン		1	1	1	1		1	1	1	1	1		9
手 元 ボ タ ン							1						1
ペ ン ダ ン ト					2						1		3
火 災 セ ン サ ー													0
ガ ス セ ン サ ー	2	1		1	1	1					2		8
その他の停復電含		4											4
相 談 ボ タ ン												1	1
合 计	2	6	1	2	4	1	2	1	1	1	4	1	26

③ 処理別回数

種 別 \ 月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
救 急 車 出 場				1	1		1	1	1	1	1	1	8
消 防 車 出 動													0
出 向 調 査	1	4			1								6
協 力 員 要 請													0
合 计	1	4	0	1	2	0	1	1	1	1	1	1	14

火災と救急・救助

1. 火災概況

年		令和2年		令和元年(平成31年)	
区分		内訳	合計	内訳	合計
火災件数	建物火災	3件	3件	2件	2件
	林野火災	0件		0件	
	車両火災	0件		0件	
	その他火災	0件		0件	
焼損面積	全焼	0m ²	60(308)m ²	259m ²	269(2)m ²
	半焼	0m ²		10m ²	
	部分焼	60(308)m ²		(2)m ²	
	ぼや	0m ²		0m ²	
	車両	0台	0台	0台	0台
	林野	0a	0a	0a	0a
損害見積額	建物	6,737千円	6,966千円	2,240千円	3,495千円
	収容物	229千円		1,255千円	
	車両	0千円		0千円	
	その他	0千円		0千円	
	火災1件当 (千円未満四捨五入)	2,322千円		1,748千円	
	市民1人当 (小数点以下四捨五入)	2,307円		1,117円	
	1世帯当 (小数点以下四捨五入)	3,896円		1,906円	
焼損棟数	全焼	0棟	3棟	3棟	5棟
	半焼	0棟		1棟	
	部分焼	2棟		1棟	
	ぼや	1棟		0棟	
罹災世帯数	全損	0世帯	2世帯	1世帯	1世帯
	半損	0世帯		0世帯	
	小損	2世帯		0世帯	
罹災人員	全損	0人	8人	1人	1人
	半損	0人		0人	
	小損	8人		0人	
死傷者数	死者	0人	0人	0人	0人
	負傷者	0人		0人	

※焼損面積()は表面積

※令和2年末人口3,019人、世帯数1,788世帯

(1) 令和2年火災記録 (出火率9.9)

番号	出火月日	知覚方法	出火場所	用焼損程度	焼損面積(m ²)	損害見積額(千円)			焼損棟数			罹災世帯数			死者数	負傷者数	火原因	気象状況					
						建物	収容	車両	全焼	半焼	部焼	全損	半損	部損	全損	半損	部損	天気	風向	風速(m/s)	湿度(%)	温度(℃)	
1	1月30日	1月31日10:00 事後聞知	文珠110番地13 住宅	ばやばや			1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	複たばこ	晴	北北西	1.6	70.8	0
2	4月22日 24日	4月24日17:42 事後聞知	上歌1番地5 事業所	部分焼		2	2	77	79								放火	-	-	-	-	-	
3	12月30日	9:09	119 歌神95番地7	寄宿舎	部分焼	60	306	6,735	151	6,886					1	7	不明	雪	-	0	86.5	-8.7	

※ 出火率(人口10,000人あたりの出火率) = 出火件数 ÷ 人口 × 10,000人
 ※ 令和2年12月末人口 3,019人

(2) 既往10カ年月別火災発生状況

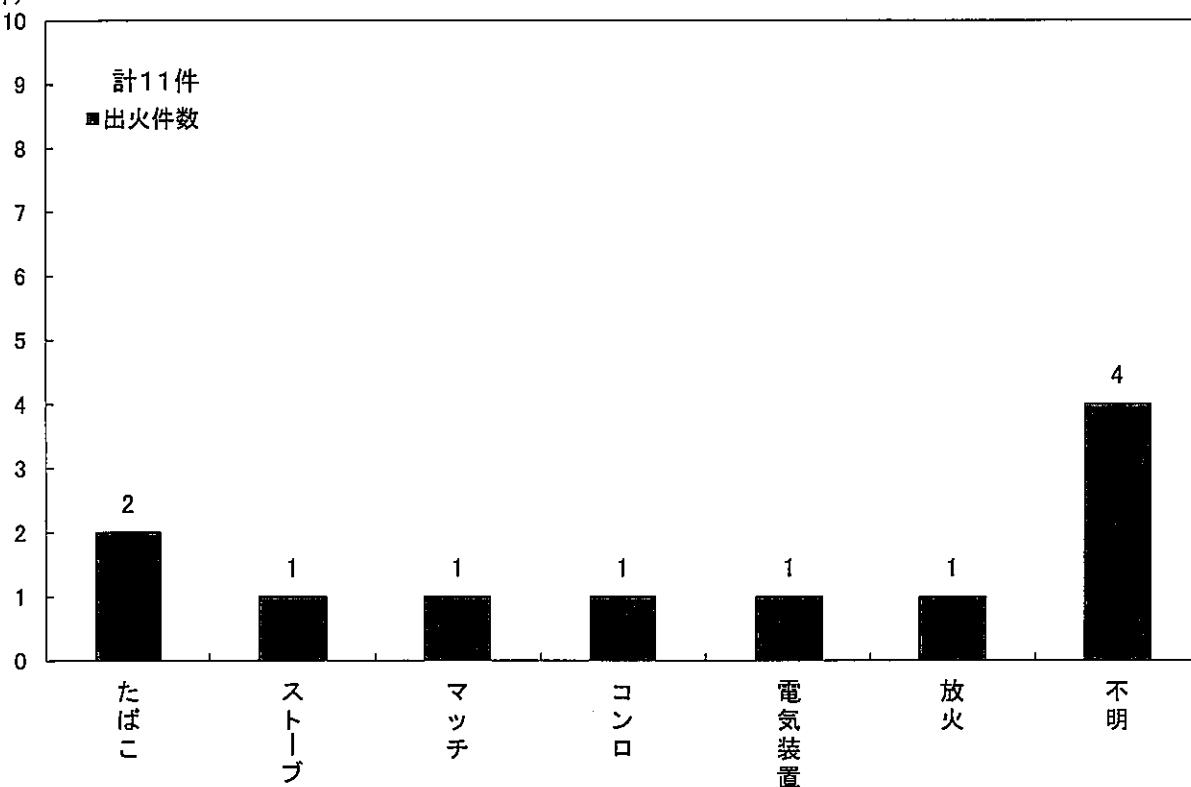
年別	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成23年	建物火災													0
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成24年	建物火災										1			1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成25年	建物火災										1			1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成26年	建物火災	1												1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成27年	建物火災								1		1			2
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成28年	建物火災													0
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成29年	建物火災													0
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
平成30年	建物火災									1				1
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
令和元年 (平成31年)	建物火災	1					1							2
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
令和2年	建物火災	1				1							1	3
	林野火災													0
	車両火災													0
	その他火災													0
合計		2	1	0	1	1	0	0	2	0	2	1	1	11

(3) 既往10カ年火災状況

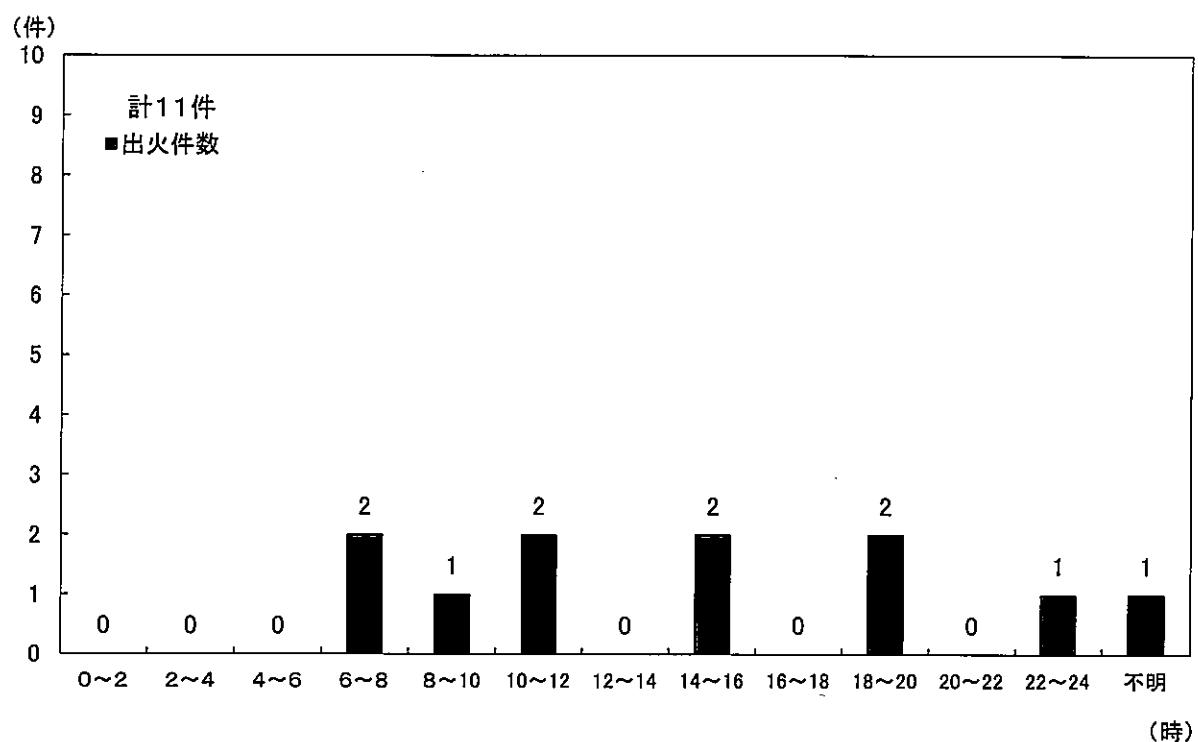
年	火 災 種 别					焼 損 状 況				損害額 (千円)	死 者	負 傷 者
	建物	林野	車両	その他	計	床面積 (m ²)	表面積 (m ²)	台	アール (a)			
平成23年					0							
平成24年	1				1		9			9,503		
平成25年	1				1	106	4			3,683		
平成26年	1				1	7	105			554		1
平成27年	2				2	134	49			11,987		
平成28年					0							
平成29年					0							
平成30年	1				1					1		
令和元年 (平成31年)	2				2	269	2			3,495		
令和2年	3				3	60	308			6,966		
合 計	11	0	0	0	11	576	477	0	0	36,189	0	1

(4) 既往10カ年原因別出火件数

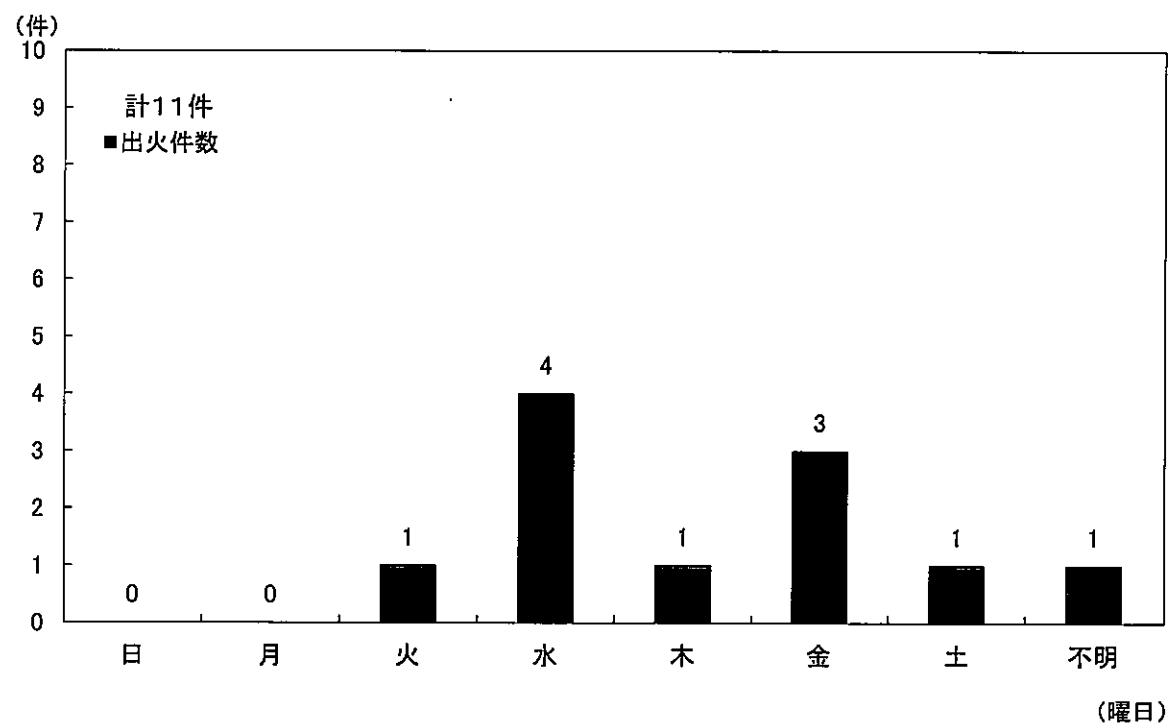
(件)



(5) 既往10カ年時間帯別火災発生状況



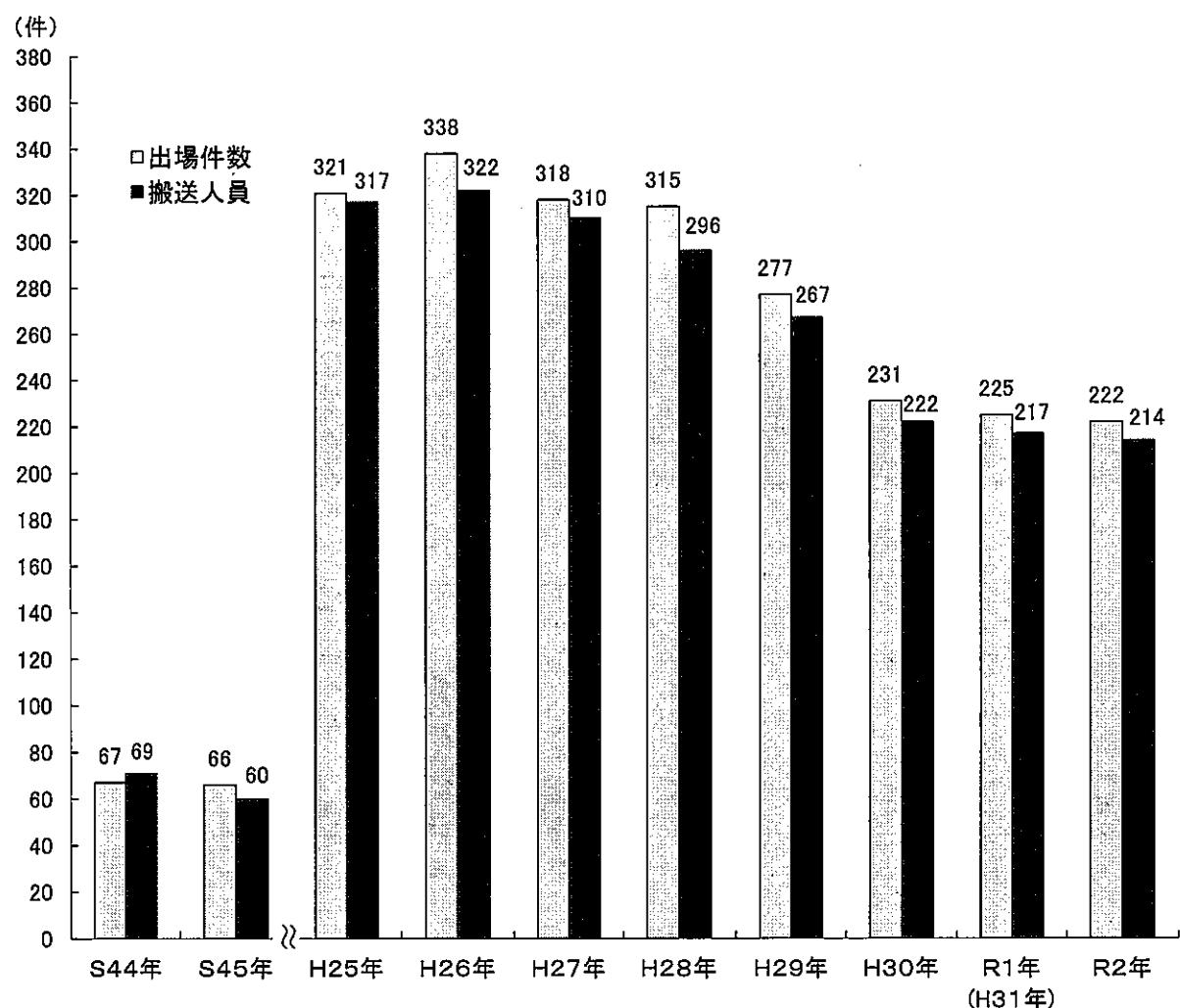
(6) 既往10カ年曜日別火災発生状況



2. 救急概況

出場件数	搬送人員		不搬送件数
222	214	男	105
		女	109

年区分	S44年	S45年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年 (H31年)	R2年
出場件数	67	66	321	338	318	315	277	231	225	222
搬送人員	69	60	317	322	310	296	267	222	217	214



(1) 月別救急出場状況

月 別	区 分	事 故 種 别										合 計	
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		
1 月	出場件数						1	6			10	1	18
	搬送人員						1	6			10		17
2 月	出場件数				1			2			15	5	23
	搬送人員				1			2			15	1	19
3 月	出場件数							5			9	2	16
	搬送人員							5			9	1	15
4 月	出場件数							1			11	1	13
	搬送人員							1			11	1	13
5 月	出場件数							3			15	1	19
	搬送人員							3			15	1	19
6 月	出場件数										13		13
	搬送人員										13		13
7 月	出場件数							4			19	1	24
	搬送人員							4			19		23
8 月	出場件数					1		1			22	1	25
	搬送人員					1		1			22	1	25
9 月	出場件数				2			5			12	1	20
	搬送人員				2			5			12	1	20
10 月	出場件数							2			7	3	12
	搬送人員							2			7	2	11
11 月	出場件数				2			2			14	1	19
	搬送人員				3			2			14		19
12 月	出場件数				1			3			15	1	20
	搬送人員				1			3			15	1	20
合 計	出場件数	0	0	0	6	1	1	34	0	0	162	18	222
	搬送人員	0	0	0	7	1	1	34	0	0	162	9	214

(2) 時間別救急出場状況

事故種別 時間別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0 ~ 2							2			10		12
2 ~ 4										8		8
4 ~ 6							1			4	1	6
6 ~ 8					1		3			11	1	16
8 ~ 10					3		3			39	1	46
10 ~ 12					2		2			13	7	24
12 ~ 14							6			9	5	20
14 ~ 16							3			21	1	25
16 ~ 18					1		5			7	2	15
18 ~ 20						1	6			18		25
20 ~ 22							2			13		15
22 ~ 24							1			9		10
合計	0	0	0	6	1	1	34	0	0	162	18	222

(3) 曜日別救急出場状況

事故種別 曜日別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月				3			4			26		33
火							6			26	3	35
水					1		4			26	6	37
木							6			20	2	28
金				3			3			22	3	31
土						1	4			21	4	30
日							7			21		28
合計	0	0	0	6	1	1	34	0	0	162	18	222

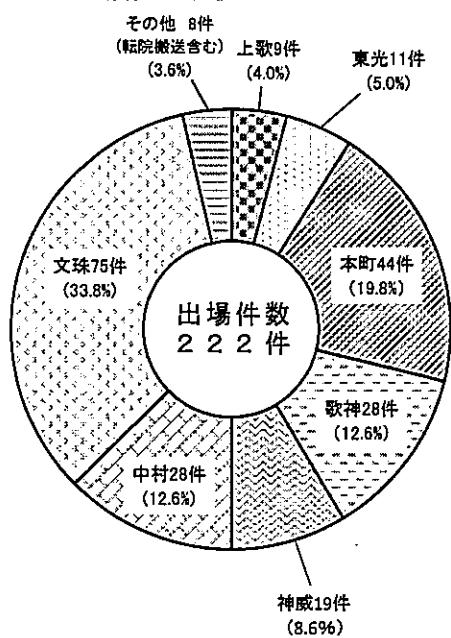
(4) 年齢・性別搬送状況

年齢 性別 \	0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~	合計
性別 / 男		1	1	2	4	11	22	64	105
性別 / 女				2	2	3	5	21	76
性別 / 合計	0	1	3	4	7	16	43	140	214

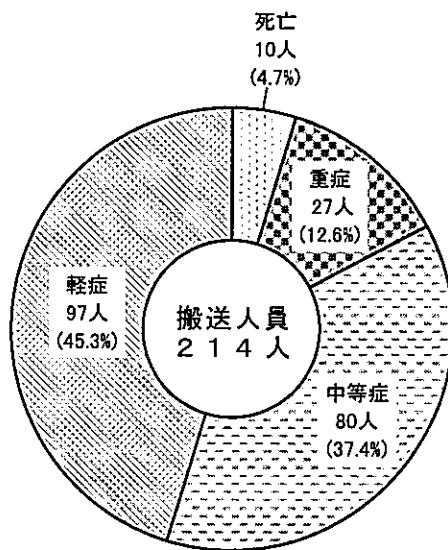
(5) 事故種別・性別搬送状況

事故種別 性別 \	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
性別 / 男				4	1	1	14			83	2	105
性別 / 女					3			20		79	7	109
性別 / 合計	0	0	0	7	1	1	34	0	0	162	9	214

(6) 地区別発生状況



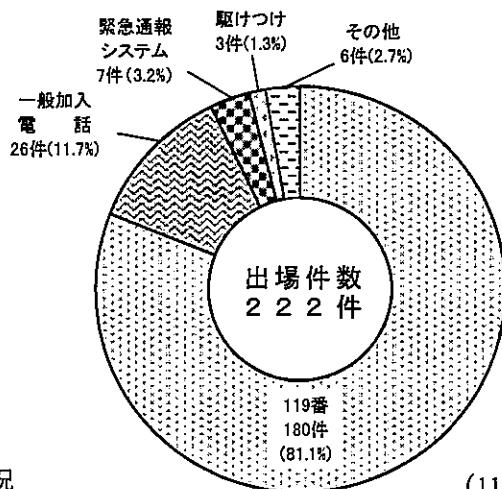
(7) 傷病程度別搬送状況



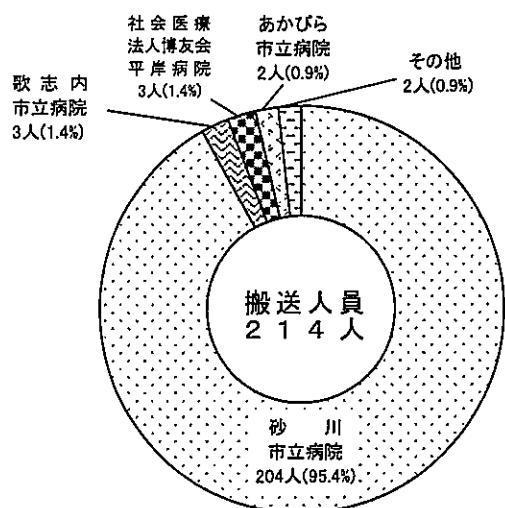
(8) 救急隊員の行った応急処置件数

応急処置 事故種別	対象人 員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入		保呼吸道		被覆	血圧測定	聴診	血中酸素飽和度測定	心電管	気管挿管	除細動	静脈路	心肺機能停止	心肺機能停止傷病者	薬投与	血液測定	ブドウ糖溶液投与	合計			
							自動式心マッサージ器	蘇生器	確入	保等																	
急 病	162	1	1			5 (5)	45	5			(5)	154		156	2	157	49			3 (3)			2		580		
交通事故	7		5									7		7		7										26	
一般負傷	34	5	13					2				34	9	34		34	3									134	
その 他	11	1						3				10		11		11	1									37	
合 計	214	7	19	0	0	(0)	5	(5)	50	5	(0)	(0)	(5)	205	9	208	2	209	53	0	0	3 (3)	(0)	0	2	0	777

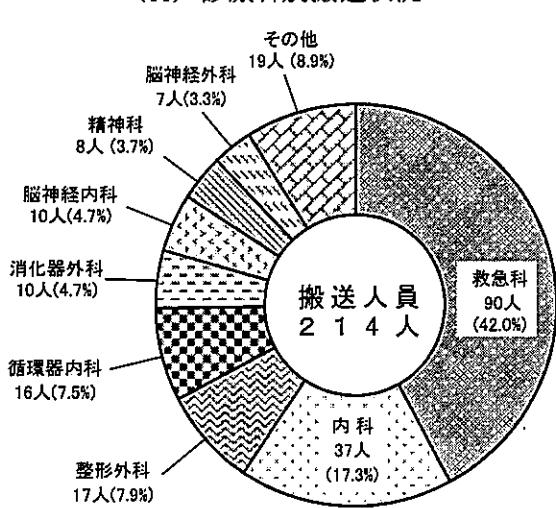
(9) 覚知別受信状況



(10) 医療機関別搬送状況



(11) 診療科別搬送状況



(12) 既往5ヵ年事故種別出場状況

事故種別 年別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成28年				7	3	3	47		3	213	39	315
平成29年				4	2	4	39		1	202	25	277
平成30年				6	1	6	32	1	1	162	22	231
令和元年 (平成31年)						2	40	3	2	153	25	225
令和2年				6	1	1	34			162	18	222

(13) 普通救命講習会実施状況

区分 年別	実施回数	受講人員			合計
		男	女	合計	
平成28年	3	24	26		50
平成29年	3	30	13		43
平成30年	2	8	27		35
令和元年 (平成31年)	4	23	30		53
令和2年	0	0	0		0

※令和2年については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い未実施

(14) 一般救急講習会実施状況

区分 年別	実施団体						実施回数	受講人員
	事業所	福祉施設	観光施設	町内会	学校関係	その他		
平成28年	5			2		3	10	163
平成29年	3	4		3		4	14	162
平成30年		1				2	3	20
令和元年 (平成31年)	1	1				2	4	46
令和2年		1	1		1		3	40

3. 救助概況（既往 5 カ年）

年別	発生月日	覚知時刻	発生場所	事故種別	出動車両			出動人員	救助人員	使用資機材
					タンク車	指令車	その他			
平成28年	1月15日	11:39	神威 270番地10	その他	1	1	1	10	1	なし
	2月16日	8:48	上歌 1006番地	交通事故	1	1	1	10	1	なし
	2月25日	11:19	歌神 1012番地	交通事故	1	1		4	1	なし
	6月26日	10:38	文珠 229番地5	建物事故	1			4	1	工具
	7月 1日	15:03	本町 1003番地1	交通事故	1	1		4	1	なし
	10月20日	15:00	文珠 228番地1	その他	1	1		5	1	なし
	12月25日	19:12	神威 213番地	その他	1			2	0	3連梯子・ゾンデ棒
平成29年	6月25日	8:17	本町 76番地	交通事故	1			2	0	なし
	10月 1日	1:56	文珠 1037番地8	交通事故	1			2	0	なし
平成30年	1月17日	15:43	本町 71番地1	その他	1	1	3	13	1	3連梯子・ゾンデ棒
	1月25日	14:34	本町 77番地14	その他			1	6	0	なし
	3月 2日	14:13	文珠 1030番地	その他	1		1	7	1	3連梯子・20mロープ バスケットストレッチャー
令和元年 (平成31年)	救助事案なし									
令和2年	2月14日	7:44	歌神 27番地	交通事故	1			2	1	なし
	9月11日	12:35	文珠 244番地2	その他	1	1	1	9	1	3連梯子・20mロープ バスケットストレッチャー
	9月18日	10:20	本町 1004番地	交通事故	1	1		4	0	A.Cライト(2kg)・吸着マット
	12月28日	9:51	歌神 1013番地	交通事故	1		1	7	0	なし

予 防 行 政

1. 月別建築同意・通知処理状況

月 别		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
同 意 件 数														0
工 事 別		新 築												0
		増 築												0
		用 途 変 更 及 び 計 画 変 更												0
		修 繕												0
		移 転												0
構 造 別		耐 火 構 造												0
		準 耐 火 構 造												0
		木 造												0
		そ の 他												0
用 途 別		(1) イ 劇場・映画館等												0
		ロ 公会堂・集会場												0
		(2) イ キャバレー等												0
		ロ 遊技場等												0
		ハ 性風俗関連												0
		二 カラオケボックス等												0
		(3) イ 待合・料理店等												0
		ロ 飲食店												0
		(4) 百貨店・店舗等												0
		(5) イ 旅館・ホテル等												0
		ロ 寄宿舎・共同住宅												0
		(6) イ 病院・診療所等												0
		ロ 老人短期入所施設等												0
		ハ 老人デイサービスセンター等												0
		二 幼稚園等												0
(7) 学校等														0
(8) 図書館・博物館等														0
(9) イ サウナ浴場等														0
		ロ イ以外の浴場												0
(10) 停車場・発着場等														0
(11) 神社・寺院等														0
(12) イ 工場・作業場														0
		ロ 映画スタジオ等												0
(13) イ 車庫・駐車場等														0
		ロ 格納庫等												0
(14) 倉庫														0
(15) その他の事業場														0
(16) イ 複合用途														0
		ロ イ以外の複合用途												0
専 用 住 宅														0
自 家 用 車 庫・倉 庫														0
そ の 他														0

通 知 書	月 别	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	件 数													0

2. 消防業務処理状況

区分	件 数	受付件数	処理件数
危 險 物 物 關 係	製造所等設置許可申請		
	製造所等完成検査前検査申請		
	製造所等完成検査申請	1	1
	製造所等変更許可申請	1	1
	製造所等仮取扱承認申請	2	2
	製造所等譲渡引渡届	3	3
	危険物保安監督者	選任届	
		解任届	
	製造所等軽微な変更届	2	2
	製造所等廃止・休止(再開)・変更届	9	9
少量危険物貯蔵・廃止届			
ボイラ一等設備設置届			
防火対象物使用開始届	3	3	
露店等の開設届	5	5	
催物開催届	1	1	
吸収式冷温水発生機設置届			
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱い開始届	1	1	
屋内消火栓設備設置届			
フード等簡易自動消火装置設置届			
自動火災報知設備設置届			
消防機関に通報する火災報知設備設置届			
非常警報設備設置届			
消火器設置届			
誘導灯・誘導標識設置届			
発電設備設置届	1	1	
蓄電池設備設置届	2	2	
揚煙等の行為の届	4	4	
道路工事届	9	9	
煙火打上げ・仕掛け届	3	3	
合 計	47	47	

3. 防火管理者業務状況

区分 項別	選任義務 対象物数	選 任	変更に伴う 選任届出	変更に伴う 解任届出	変更に伴う 消防計画	消防訓練 実 施	設備点検 報 告
(1) 口	7	7			2	9	2
(5) イ	2	2				2	1
	口	4	4			4	4
(6) イ	2	2		1	1	3	2
	口	5	5		1	8	5
	ハ	4	4	1	1	7	4
(7)	2	2	2	2	2	4	2
(8)	2	2			2	2	2
(11)	7	7				4	2
(15)	9	9			6	6	8
(16) イ	1	1					
合 計	45	45	3	4	15	49	32

4. 危険物製造所等現在数調

種 別 区 分	設 置 数	貯 �藏 又 は 取 扱 数 量 (t)								保 安 監 督 者	
		自 家 用	営 業 用	合 計	第 4 類				第 5 類		
					第 1 石油類	第 2 石油類	第 3 石油類	第 4 石油類			
貯 蔵 所	屋 内 貯 藏 所	1	1	2	600	600	16,800	9,000	100 (kg)	27,000 100 (kg)	1
	屋 内 タンク 貯 藏 所	3		3		12,480				12,480	
	地 下 タンク 貯 藏 所	16	1	17		227,400	150,500			377,900	1
	移 動 タンク 貯 藏 所	3	4	7		23,250	7,500			30,750	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	3	4	54,400	81,300	1,600	5,700		143,000	4
	一 般 取 扱 所	5	1	6		78,800	15,000			93,800	2
	小 口 詰 替 専 用 一 般 取 扱 所			1		19,200				19,200	1
合 計		29	11	40	55,000	443,030	191,400	14,700	100 (kg)	704,130 100 (kg)	9

5. 危険物規制事務手数料

区 分 手数料 (円)	仮取扱承認手数料	変更許可手数料	設置許可手数料	完成検査手数料
合 計	30,300	10,800	13,000	0

6. 防火広報活動

春の火災予防運動（4月20日～4月30日）

秋の火災予防運動（10月15日～10月31日）

歳末特別警戒（12月25日～12月31日）

区分	回数	活動の内容
消防車による広報	35	春・秋の火災予防運動期間、歳末特別警戒
新聞等の掲載	20	市広報紙「うたしない」掲載、災害対応型自動販売機電光掲示板、消防本部電光掲示板に掲示
防火ポスターの配布	2	春・秋の火災予防運動期間、防火対象物に配布
放送施設の利用	116	春・秋の火災予防運動期間、歳末特別警戒、お盆、夏休みに火災予防広報を実施
消防訓練	49	病院、診療所、学校、老人福祉施設、身体障害者更生施設、旅館等
サイレン吹鳴	4	春・秋の火災予防運動期間に実施
事業所啓発	1	団本部団員による歳末防火広報
防火座談会	2	秋の火災予防運動期間に実施



歌志内市消防シンボルキャラクター
<ホルンくん>